

わが家の 災害への備え!

2018
春号
くらしと保障の情報誌
くらしのパンパルン

非常食を持って自分のまちを歩いてみよう!

東日本大震災から7年がたちました。今も各地で地震や河川の氾濫、土砂崩れなど災害は身近でおきています。いざというときのために、避難場所や避難所まで実際に歩いてみませんか? 学校までの道のり、よく行く遊び場でどんな危険がひそんでいるか地図ではわからない発見があるはず。そして災害用の非常食や備品もこの機会に試してみましよう。

だいぶ前に買った非常用の
レトルト食品、缶詰めのパン、水、
賞味期限すぎていない?

この非常食、
子どもたち
好き嫌いなく食べられるかな?

保温シートは
家族分
あったかしら?



? 非常用に買った
お湯をわかすバーナー、
使ったことがないし...



そうだ、みんなで
防災ピクニックに
出かけて
いろいろ試してみよう!



避難所まで歩いてみる



ひなんばしよ
避難場所
Evacuation area

ひなんじよ
避難所
Evacuation shelter



ぷらん会館
Plan hall



↑ぷらん会館に到着

このビルは避難所と避難場所だね。大規模な火事マークに×がついているから火災のときはここに逃げられないんだよ。○のマークはその災害に適した避難場所の印だよ。

ビルにかかっているこのマークなあに？

＜避難場所＞…災害時の危険を回避するために、一時的に避難する場所。
＜避難所＞…災害によって避難生活を余儀なくされた場合に、一定期間の避難生活を行う施設。



自宅近くの危険な箇所を確認



↑家の近くにある古い塀の前を通る

倒れてきたらこわいな！

途中、古いブロック塀があっただけ、地震のときは倒れそ〜。避難場所まで行く他の道も探しておかなきゃ！



非常食、備品を使ってみる



↑避難場所に指定されている公園に到着

あーっ、効果あるのね！
暖かくなってきたよ！
バーナーでお湯をわかしてみよう。
缶詰のパンがある！

※1:効果は、ブランケットの厚さなど品質により違います。
※2:バーナーの使用については、各自治体のルールに従いましょう。

今回、公園で使用した非常食や備品は必ず補充しておきましょう。
備えて・使って・買い足す【ローリングストック法】



地形からくる危険な場所を確認



↑遊び場の河川付近を通る

ぷらん会館にも似たようなマークがあっただけ…

このマークは豪雨などで土石流が発生する危険があるから注意が必要であることを知らせているんだよ。今は穏やかに流れているけど、大雨の時は絶対に近づいてちゃダメだからね。

パーソナルユース

その人だけに必要なもの。持病薬、予備メガネ、使い捨てコンタクトレンズなど。赤ちゃんは粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ。女性は生理用品など。また、高齢者や障がい者のいる家庭では、その家族構成にあわせた物も。

家族の備蓄リストを書き出してみよう

Blank lines for writing a family inventory list.

「ラップ、ボトル型ウェットティッシュ」
水道が止まると食器が洗えません。お皿にはラップをかぶせて使えば洗わないですみます。スプーンはウェットティッシュで洗浄をしましょう。

「充電器」
災害時にスマホを充電できる乾電池式充電器は、目覚まし時計など、日常の電化製品にも使うことができます。太陽光で電気をつくるソーラーバッテリーは充電に時間がかかりますが、いざという時の手段になるので、用意しておくと安心です。

「小型消火器」
地震の時、道がふさがれたり渋滞したりで消防車はすぐに来られないことがあります。地震時でなくとも普段から火事防止に役立ちます。初めに使い方を確認しておきましょう。

「簡易トイレ」
災害時には停電などにより、水道が止まったり排水が出来なくなったりすることがありますので、簡易トイレを用意しましょう。凝固剤で固まるのでにおいを防止できます。

備えておきたいけど忘れがちな防災用品

家族で確認

今日はいろんな発見があったね。万災害が起きた時は、家の近くなら「公民館」「小学校」「避難所」になっているから、どちらか近くに避難しようね。



家が住める状態なら家も避難場所になるから、すぐに支援物資が届かない時に備えて、7日分の食糧や水を用意しよう。

次の防災ピクニックはいつ? **〈例えば7日間最低必要な4人家族の水の備え〉**
 ・1日1人2ℓ。家族4人なので8ℓが必要。
 ・7日間だと2ℓの水が28本必要。

地図ではわからない地形を確認



雨が続きと崖崩れや地すべりの危険があるし、大雨の坂道は水の勢いが増すから気を付けなさい。

↑通学路にある傾斜地を通る

家族の集合場所を決める

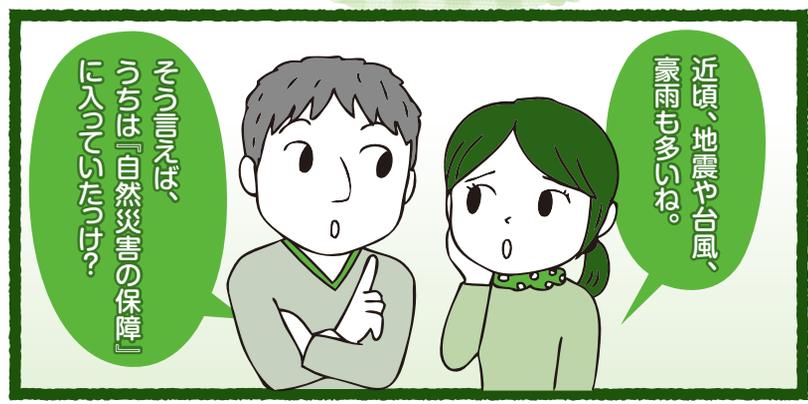


子どもたちが学校近くで災害にあつたときは、無理に家に帰らなくていいよ。ここに集まるんだよ。

ここも避難所になるよー!

出典:災害種別一般図記号、注意図記号、避難場所図記号、避難所図記号(一般社団法人日本標識工業会/内閣府)

次号(夏号)テーマ わが家にピッタリの保障選び



そのうえ、うちは『自然災害の保障』に入っていたっけ?

もしもの自然災害のために、保障を準備しておこう!

台風

地震

火災

雪害

風水害などのとき

契約期間中に暴風雨、突風、台風、高波、雪害などにより損害が生じたとき。

自然災害共済	
大型タイプ 最高保障額 4,200万円	標準タイプ 最高保障額 3,000万円 <small>(600口加入の場合)</small>

地震などのとき

契約期間中に地震、噴火、津波などにより損害が生じたとき。

自然災害共済	
大型タイプ 最高保障額 1,800万円	標準タイプ 最高保障額 1,200万円 <small>(600口加入の場合)</small>

CO・OP火災共済について、詳しくは資料をご請求ください。

2018年 2月19日(月)~3月31日(土)の期間に

お電話で **CO・OP火災共済の資料請求** をしていただいた方に **スマホが入る防水ポーチ付き アルミブランケット プレゼント!**

※「大型タイプ」「標準タイプ」のいずれかをお選びください。
 ※自然災害共済のみでは、加入できません。CO・OP火災共済にプラスしてご加入ください。
 ※写真はイメージです。
 ※プレゼントの内容は予告なく変更する場合があります。

下記の各生協までお電話ください。